

NEWS 連合千葉

台風 15 号の災害における ボランティア活動の記録 《第 1 号》

日本労働組合総連合会

千葉県連合会（連合千葉）

〒260-0013

千葉市中央区中央 4-13-10

千葉県教育会館 新館 6 階

発行人：林田博史

編集人：小山良成

記事提供：川田和広

発行日：2019 年 10 月 1 日

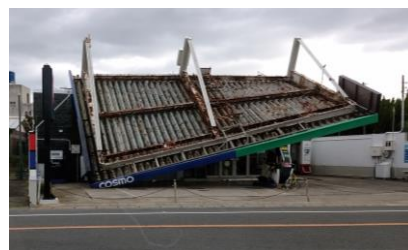
～ボランティア ニュース～

2019 年 9 月 8 日の夜から 9 日の未明にかけて、台風 15 号が千葉県を直撃しました。最大で 934,900 軒の停電と、県内住宅の被害 2 万 2028 棟（30 日午後 4 時現在）とされています。

連合千葉は、千葉県災害ボランティアセンター連絡会と連携し、被害状況が深刻である南房総の鋸南町を中心に支援活動の取組みをスタートしました。

9 月 15 日＜現地調査＞

発生から最初の日曜日、連合千葉として川田副事務局長が被害の大きかった南房総へ実態調査に入りました。



左：鋸南町の災害ゴミ集積所 右上：屋根が落ちてしまったガソリンスタンド 右下：ブルーシートが張られた家々

9 月 23 日＜鋸南町ボランティアセンター＞

日本製鉄君津労組の協力のもと、連合千葉として活動拠点をユニオンセンター君津に設置。当日は 9 時に集合し、そこから鋸南町ボランティアセンターへ入り、「ボランティアの受入業務」や「被災者からのニーズ受付」を行いました。



左：ボランティア受付の様子
右：被災者からの電話対応

2019年9月28日

までの活動報告



9月26日＜鋸南町ボランティアセンター＞

ボランティアセンターの事務局運営の応援を行いました。被災された方からの要望を聞きましたが、多くの方から屋根に被せるブルーシート張りや張替えの希望がありました。しかし、実際には約500件待ち状態で、手が回らない現実がありました。他にも「倒木の撤去」や「ガラスの破片除去」、「畳の撤去・搬出」等、多岐にわたる要望が寄せられました。

9月28日＜鋸南町 奥山＞

「本日は、駆け付けボランティアとして力を発揮して欲しい」と要請があり、被災者からの声に応えるため現場へ出向きました。支援要請は高齢のご夫婦から「自宅の裏山が一部崩落、土砂によって玄関の開け閉め出来なくなった。土砂を取り除いて貰いたい」とのこと。約4時間かかりましたが、どうにか土砂を撤去することが出来ました。



被災者の方から鋸南町ボランティアセンターへ届けられた花とメッセージ